

個性きらめく8つの地域

土佐市を構成する8つのエリア。
いずれの地域も、個性と魅力にあふれています。

北原 川沿いに広がる 自然豊かな山里

波介川の支流、甲原川流域に広がる地域で、ホタルの棲む水辺や美しい溪谷など、豊かな自然に恵まれています。平地は稲作などの田園地帯になっており、山の南側斜面では柑橘類の栽培が盛んに行われています。穴の病気にご利益がある穴地藏(岩屋地藏)、古墳時代中期の集落関係遺跡である甲原船戸遺跡など、文化遺産にも恵まれています。



Kitahara



蓮池 古城を中心に 発展した歴史エリア

高岡と波介の間に位置する蓮池地区では、蓮池城を舞台に栄枯盛衰の歴史絵巻が繰り広げられました。平安末期に蓮池氏が居城した後、土佐七守護の1人である大平氏が入城。蓮池の太刀踊りはこの大平氏の時代に始まったといわれます。蓮池公園では、6月から8月にかけて2種類の花で園内が彩られ、開花時期に合わせて蓮池ハスマツリが開催されています。



Hasuike



高石 清流沿いを 美しく彩る花の里

仁淀川と合流する支流、波介川の下流域に広がる高石地区。鎌田井筋も流れており、豊かな水を利用した施設園芸が盛んに行われています。華やかなオリエンタル系ユリなどの花卉や、メロンやスイカ、キュウリなどを栽培し、県内外へ出荷。また、自由民権運動家で初代参議院議員になった中島信行の出身地でもあります。



Takaishi



宇佐 名高い漁業基地& マリンスポット

太平洋に面する宇佐地区は、古くから漁業基地として栄えてきました。改良土佐節発祥の地として、いまでも鷹節が盛んに生産されています。近年は一本釣りのうめいわしのブランド化にも取り組んでいます。ホエール&イルカウォッチングの基地としても注目され、宇佐土曜市や宇佐港まつり、宇佐大鍋まつりなどの多彩なイベントも開催されています。



Usa

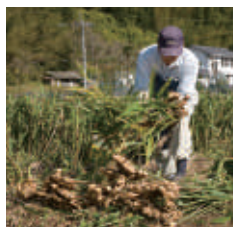


戸波 伝統文化と 産業がいまも息づく

土佐市の西部地域で、波介川上流に広がっています。民謡『よさこい節』に歌われた僧純信の出身地でもあり、その魂を慰める純信堂も建立されています。土佐文旦発祥の地として知られ、生姜の栽培も盛ん。土佐市を代表する伝統産業、竹細工も戸波地区の特産です。

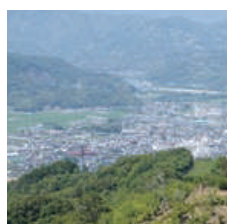


Hewa



波介 丘陵が見下ろす のどかな農耕地域

蓮池から戸波に向かって波介川南岸を延びる中村街道沿いに開けた農耕地域です。弥生・古墳時代の遺跡が見つかり、鎌倉・室町時代の須恵器や土師器が出土するなど、古くから人々の暮らしが営まれていたことがわかっています。南部には波介山展望公園が整備され、眺望抜群のハイキングコースとして親しまれています。



Hage



高岡 にぎわいと 潤いのあるまち

仁淀川の恩恵を受けて、高岡地区では古くから土佐和紙の製造が行われてきました。いまでも土佐市の中心地としてにぎわい、日曜市が開かれ、8月には約1,000人の力自慢が競い合う大綱まつりが開催されます。平成25年にはドラゴン広場もオープンし、新しい名所になっています。

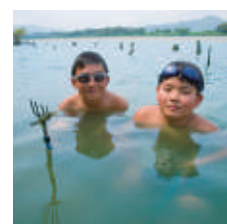


Takaoka



新居 雄大な太平洋に臨む 園芸地域

仁淀川の河口付近に位置し、鎌田井筋が地域内を巡る新居地区。かつて大規模な土地改良・耕地整理が行われたエリアで、いまでは全国指折りの施設園芸地域になっており、高品質のスイカやメロンが栽培されています。仁淀川河口大橋付近は絶好の波が立つことでも知られ、県内外から多くのサーファーが訪れます。



Nii

